

1、若年性認知症とは？

1 認知症かな？！

こんなことが気になりませんか？

- ・ 仕事の予定を忘れる
- ・ 以前と比べるとミスが多い
- ・ 知り合いや親族の名前が思い出せない
- ・ 慣れた道で迷う
- ・ 覚えていた漢字が書けないことがある
- ・ 2つ以上の仕事が重なると混乱する
- ・ 仕事のやる気がでない
- ・ イライラしたり、元気がなかったり、感情の波が激しい。
感情コントロールができていない様子がある
- ・ 料理の仕方がわからなくなったり、リモコンの使い方に戸惑うことがある
- ・ 外出したくない
- ・ デスクや部屋が片付けられない
- ・ 身だしなみを気にしなくなった



これらはあくまで目安です。
当てはまらない方もいます。

2 若年性認知症とはどんな病気？

若年性認知症とは、65歳未満で発症した認知症のことです。若年性認知症は、医学的には高齢者の認知症と違いはありません。しかし、自身が社会の中心となり家庭を支えるというライフサイクルの視点から考えると、病気だけではなく、経済的問題、家族への身体的・精神的負担が高齢者の認知症と比べると大きいと言われています。

3 高齢者の認知症とどう違うの？

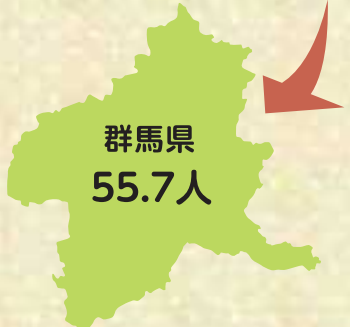
- **発症年齢が若い**
- **男性に多い**
- **体力がある。就労やボランティア活動などが可能である**
- **今までとの違いに気付いても、受診が遅れる、又は、診断までに時間がかかる**
- **家庭内の課題が多い**
子供の養育・教育・結婚などと重なることがあり、家庭内で大きな困難が生じることがあります。
- **経済的な課題が多い**
働き盛りで一家の生計を支えている人が多く、休職や退職により経済的に大きな問題を抱えることとなります。家族の生活費、子供の教育費、医療費や介護費等の出費が重なると経済的に困窮する可能性があります。
- **主介護者が配偶者に集中する**
高齢者の場合は、配偶者と共に子供世代が介護を担うことが多いが、若年性認知症の場合は子供はまだ若く、介護者は配偶者に集中しがちになります。
- **時に複数介護となる**
若年性認知症の人やその配偶者の親世代は高齢者である場合が多く、また、家庭内で障害者を抱えている場合もあり、複数介護になることもあります。

4 若年性認知症の実際

令和2年3月

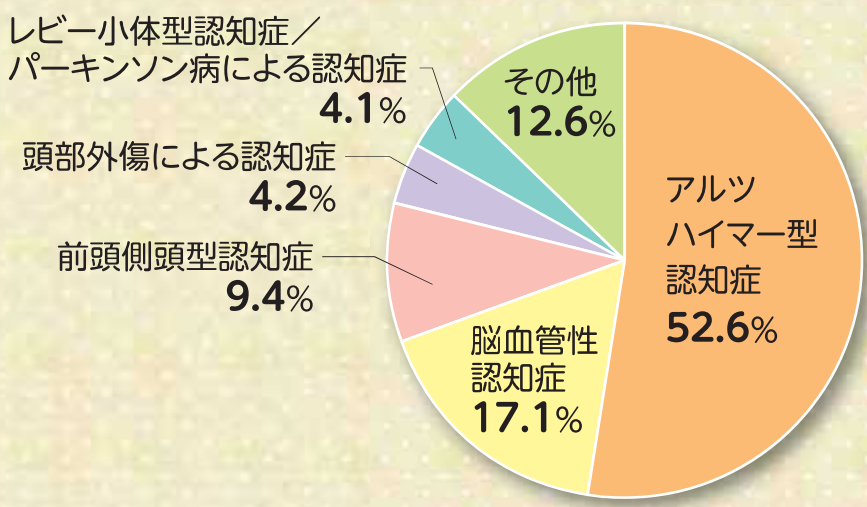
日本医療研究開発機構認知症研究開発事業による
「若年性認知症の有病率・生活実態把握と
多元的データ共有システムの開発」
(2017年度～2019年度実施)

全国の若年性認知症の数は約**35,700人**
若年性認知症有病率は18歳から64歳までの
人口10万人あたり50.9人と推計
(2018年時点)



日本医療研究開発機構認知症研究開発事業・群馬県分担調査による推計値。

原因疾患別



5 若年性認知症と間違われやすい病気

● うつ病

気分の落ち込み、意欲の低下、集中力の低下、認知機能の低下等の症状がみられるのがうつ病です。症状が似ている部分があることから、若年性認知症が見落とされ“うつ病”のみが診断されてしまう場合があります。



● 発達障害

(アスペルガー症候群、注意欠陥性多動性障害 (ADHD) 等)

忘れ物が多い、時間の管理が苦手、優先順位をつけることが苦手、落ち着きがない等の症状がみられます。発達障害の方々の中には「自分は認知症なのではないか」と思われる方もいます。

● せん妄

身体的な病気の影響や急激な環境の変化で意識が障害され、記憶障害、幻覚、支離滅裂等がみられます。せん妄は認知症と間違えられるケースが非常に多い病態です。



2、相談窓口・利用できるサービス、制度

1 どこに相談したらいいの？

●若年性認知症支援コーディネーター

平成29年度から若年性認知症の人と家族等に対する支援を一層強化することを目的に県内の認知症疾患医療センターに配置しています。

[お手伝いできること]

- ・若年性認知症の人やその家族の相談に応じます
- ・利用できるサービス・制度を紹介します
- ・専門の医療機関、支援機関、家族会等を紹介します
- ・お仕事に関する相談もお受けします
- ・若年性認知症について周囲の方々に理解していただけるように一緒に働きかけていきます



みなさんの不安1つ1つに寄り添い、解決方法を一緒に探ります。
どんなことでもご相談ください！

※若年性認知症支援コーディネーター受託機関一覧は別紙をご参照ください。

若年性認知症支援コーディネーター一覧 (群馬県HP内) :

https://www.pref.gunma.jp/02/bf01_00007.html



●認知症疾患医療センター

認知症疾患に関する専門医療相談、鑑別診断、認知症専門医療の提供と介護サービス事業所等との連携を図ります。

※群馬県内の認知症疾患医療センターは別紙をご参照ください。

認知症疾患医療センター一覧 (群馬県HP内) :

<https://www.perf.gunma.jp/02/d2300056.html>



●若年性認知症コールセンター

若年性認知症特有の様々な悩みに対し、専門の相談員が電話相談に応じます。

TEL:0800-100-2707

●認知症の人と家族のための電話相談

認知症の方の介護経験のある家族等が相談をお受けします。

月曜日～金曜日 10時～15時 (年末年始・祝日を除く)

TEL:027-289-2740